



2024年7月17日

No.5

スエ T の科学の時間 2回目！

今回は、“木について知ろう②！”がテーマでした。前回よりも詳しく、年輪の話や木の種類の違いや、用途について話を聞きました。スエ T が木代の向井製材さんに行ってもらってきた木材を、見たり、触ったり、匂いを嗅いだり、しながら話を聞いたので、子どもたちも五感を使って理解することができました。

その後、割りばしと輪ゴムを使ってマジックハンドを作ってあそびました。



Q：山の木って何に使われる？

「いすとか」「おもちゃ」「お家のこんなの（柱だと思われます）」いろいろ意見は出ましたが、子どもたちが一番最初に言ったのは「カプラ〜」でした。身近なものをよく見ていますね。

Q：日本の山に多いのは？

杉・ひのき・松、などだそうです。これは子どもたちには少し難しかったようです。



杉：茶色と白

ひのき：ピンクがかったところがある

「ほんまや色違う〜」とよく観察していました。



Q：丸の模様はどうしてできたか？

年輪といって、夏にたくさん太くなる（白色）。冬はあまり太くならない（茶色）。

年輪を見ると何歳かわかるよと教えてもらい、「これは何歳かなあ」と興味津々でした。



お箸も木でできてるよ。割りばしは杉やひのき、しらかばや竹。祝箸は折れると縁起が悪いので丈夫でしなやかな柳の木などを使っているよ。と教えてもらい、大人も「へえ〜」でした。

輪ゴムを巻くのが少し難しかったけど、手伝ってもらって完成！

前号のスエ T の名前の文字が間違っていました。末広 亨先生です。

